

# 稲作情報



NO. 7

越後さんとう農業協同組合  
電話番号(0258)41-2887

平成28年 6月22日

水稻の生育は、“平年に比べ3日～5日程度早く”なっています!!

## 早生品種は6月末頃より穂肥時期を迎えます!



生育状況(6月20日調査:各調査地点平均値)

【コシヒカリ】

項目	平均 田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
指標値	5月10日	37	400	8.2	39.0
寺泊	5月7日	48	501	9.4	41.5
和島	5月7日	53	462	9.6	41.0
出雲崎	5月4日	53	435	9.5	37.1
与板	5月13日	44	458	8.8	39.1
三島	5月8日	50	516	9.4	42.7
越路	5月13日	44	439	8.9	40.6
管内平均	5月9日	48	467	9.3	40.4

6月20日現在の生育から、本年の幼穂形成期及び出穂期は、“平年に比べ3日～5日程度早い”と予想されます。

【コシヒカリの生育状況】

- ・草丈：指標値比129%「長い」
- ・茎数：指標値比116%「やや多い」
- ・葉数：指標値比+1.1葉「早い」
- ・葉色：指標値比+1.4「濃い」

早生品種については、6月末～7月初旬に「穂肥1回目の施肥適期」を迎えることが想定されます。

【こしいぶき】

項目	平均 田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
指標値	5月5日	40	430	8.7	42.0
北部	5月3日	47	461	9.7	43.7
中部	5月6日	44	352	9.1	45.6
こしじ	5月3日	53	547	9.9	47.2
管内平均	5月4日	48	453	9.6	45.5

### 1. 出穂期及び穂肥時期(予想)

速報値です!今後の天候により左右されますので、今後の天候～生育状況に注意してください。

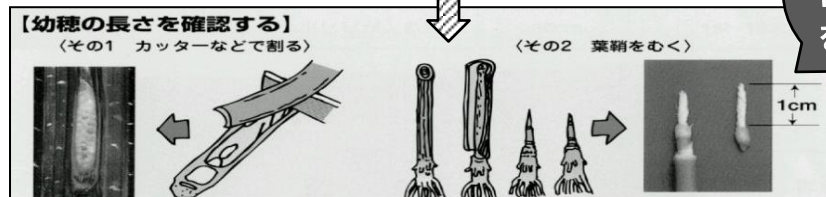
(1) 幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安 (平成28年6月20日現在)

品種名	幼穂形成期	出穂期	10a窒素成分 (2回の合計)	施用時期の目安( )は出穂前日数	
				1回目	2回目
新潟次郎	6月23日	7月16日	6kg	6/21～6/23(25～23)	7/2(14)
ゆきん子舞	6月28日	7月22日	4kg	6/27～6/29(25～23)	7/8(14)
こしいぶき	6月30日	7月24日	2(低地力)3kg	7/1(23)	7/10(14)
ゆきの精	7月2日	7月26日	2～3kg	7/1～6(25～20)	7/12～16(14～10)
コシヒカリ	7月9日	8月2日	1～2.5kg	7/15～18(18～15)	7/23(10)
わたぼうし	6月28日	7月22日	2～3kg	6/29～7/2(22～20)	7/10～12(12～10)
ゆきみのり	6月28日	7月20日	4kg	6/29～7/1(23～21)	7/8(14)
こがねもち	7月5日	7月29日	2～3kg	7/11～14(18～15)	7/19(10)
五百万石	6月27日	7月21日	1～2kg	7/1(20)	7/9(12)
たかね錦	6月28日	7月22日	1～2kg	7/2～4(20～18)	7/8～12(14～10)
越淡麗	7月14日	8月7日	2kg	7/20(18)	7/28(10)

※ 適用移植期は、稚苗で5月5日～10日です。ほ場条件や今後の天候等により前後しますので、必ず幼穂確認を行い、ほ場ごとに穂肥時期を判断して下さい。

(2) 幼穂長と出穂前日数の目安

出穂前日数 (日)	幼穂長 (cm)
24	0.1
20	0.2
18	0.5～1.0
12	4.0～6.0



※ ほ場内の平均的な生育の稲数本から総合的に判断して下さい。

品種・ほ場ごとに  
出穂前日数  
を確認しよう!



### 2. 水管理

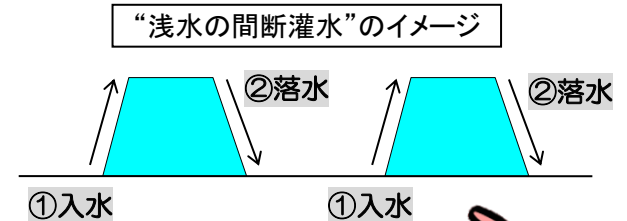
「小ヒビ」→「浅水の間断灌水」→「飽水管理」を徹底!

管内において、茎数過剰・葉色の濃いほ場、中干し不十分なほ場が散見されるので、該当するほ場では中干しを継続しましょう!

田面に“小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度”になったら中干しを終了し、浅水の間断灌水を実施した後、徐々に飽水管理に移行しましょう。中干しは遅くとも生殖成長への転換期(出穂1ヵ月前)までには、終了しましょう。なお、長期間にわたるタメ水(←根腐れを助長)も厳禁です。



“小ヒビ”の目安



①入水

①入水

②落水

②落水

地耐力に不安があり中干し期間を延長(長く)したい場合は、「浅水の間断灌水(①入水→②落水を繰り返す)」により、大ヒビを入れないようにしましょう!

ポイント



### 3. 病害虫の発生状況

「斑点米カメムシ」と「葉いもち病」の発生に警戒が必要です!

(1) 斑点米カメムシ …本田・農道畦畔における除草の徹底!(特に「ゆきみのり」は要注意!)

6/15～17 実施の農道畦畔すくい取り調査により、アカスジカスミカメを中心に斑点米カメムシ類の発生密度の増加が確認されています。本田内(ヒエ・イヌホタルイ)・農道畦畔等(イネ科雑草)の雑草管理の徹底により、斑点米カメムシの発生密度を抑制しましょう!

ポイント

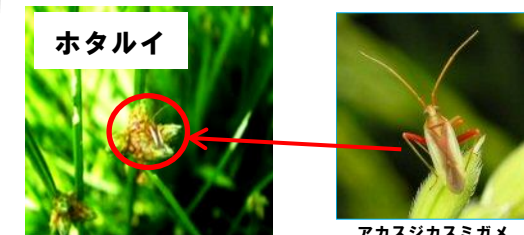
予告!

## 第2回 一斉草刈りウィーク 7月16日(土)～22日(金)

農道畦畔の重点対象雑草

メヒシバ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、ナギナタガヤ

※第1回一斉草刈りウィーク後も引き続き  
雑草種子が結実しない間隔で  
雑草管理を徹底しましょう!



アカスジカスミカメ

(2) 葉いもち病 …梅雨入り:6月13日 ⇒ ぐずつとした天候が続くことにより発生が助長されます。

現在のところ発病は確認されていませんが、★断続的にいもち病の感染好適条件が発現していること、★茎数が多く葉色の濃い稲姿であることから、今後の天候次第では多発生が懸念されます。ほ場内をよく観察し、葉いもちの発生が見られた場合は早急に防除を実施して下さい。

資材名	10a使用量	対象病害等	備考
カスミン液剤	100ℓ	いもち病:1000倍	治療(緊急防除)【穂揃い期まで】

※ いもち病の“常発地域”や“発生しやすい品種”では特に注意して下さい。

～～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～～

次回稲作情報:7月初旬「生育状況、穂肥対応、病害虫対策」(予定)